



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和7年6月号

〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

子どもたちは、体育参観に向けて忙しくも充実した表情で毎日を過ごし、元気な声が校舎に響き渡っています。ぜひ本番でその成果を発揮する瞬間を観にお越しください。そんな子供たちが頑張る姿や学校の様子をできる限り毎日HPにアップしています。お時間があるときにご覧ください。

児童と家庭、地域の皆さん、学校職員の笑顔があふれる市之倉小学校となることを願っています。

「学校安全」と「開かれた学校」

校 長

さまざまな学校の活動の中で、保護者や地域の方に授業の様子や行事を見ていただくことは多くありますが、学校安全についての取り組みを見せていただいたり、情報を提供させていただいたりする機会はありません。紹介させていただくと、4月からここまで市之倉小では、避難経路の確認、地震と火災を想定した避難訓練（煙体験含む）、交通安全教室、連れ去り防止教室など様々な取り組みを行っています。また日常的に校内安全点検や危険物（カッターナイフや包丁、理科の薬品など）の管理、給食にかかる安全管理も日々行っています。今後は熱中症対策や情報モラル、SOSの出し方などに関する教育も進めていく予定です。

さて、先日ある町で小学校2年生の教室に部外者2名（保護者の関係者）が侵入し、児童の名前を大声で叫んだり教職員に負傷させたりするなどした重大な事件が報道され、驚かされると同時に、再度学校安全を振り返る機会となりました。

いわゆる不審者対応については、2001年の大阪教育大学付属池田小学校の事件の以降、様々な通達があり、どの学校でもできる限りの対策を講じてきましたが暴漢から完全に防ぎきる手段は難しい状況です。それでも本校も6月初めに「命を守る訓練」として「不審者対応訓練」を予定しており事態を最小限にして逃げ切る訓練を行います。また事前にそれに関する校内研修を行い、職員の意識を高めています。

ここで話題の一つとなるのが、「開かれた学校」の在り方です。学校の門を閉め、校舎中を施錠して外部からの侵入を遮断すれば、確かに子供たちと他者との接触は減らすことができます。しかし市之倉小学校では絶えず地域の様々な立場の方やPTA役員さんが顔を出してくださり、学校開放週間を設置し多くの保護者や関係者の方に自由に子供たちの様子を見させていただいています。また放課後には小学校を通り抜ける中学生が元気な顔を見せてもくれます。敷地は森に囲われ自由に子供たちはその中を駆け回っています。それらは他に代え難い財産です。

しかし同時に頭の片隅に「万が一」も常に想定しなければなりません。

私は、こうして地域の皆さんのが顔を出してくださること、気にかけて目を向けていただいていること、毎日子供たちに声をかけてくださること等々、皆さんの存在が「見えない防壁」として何よりの防犯につながっていて「小学校を守っている」のだと感じています。限られた職員数の中、様々な場面で地域の方々の協力ををお願いすることも多くあると思います。今後も何卒よろしくお願ひいたします

